

第三級海上特殊無線技士試験問題

無線工学

(注) 次の各問題の記述について、正誤のいずれかを選び、答案用紙の答欄に正しく記入（マーク）すること。

1. 周波数が高くなるほど、波長は短くなる。
2. SSB 方式は、周波数変調の無線電話に用いられる。
3. 八木・宇田アンテナ（八木アンテナ）は、全方向性（無指向性）アンテナである。
4. 超短波（VHF）を用いる通信では、主として直接波が利用される。
5. 相手の通信を受信するとき、音量つまみで聞きやすい音量に調整する。
6. 直流を交流に変える装置をインバータという。
7. DSB 方式の無線電話装置は、プレストークボタンを押すと直ちに電波が発射される。
8. スケルチつまみは、送信する電波の雑音を消すために使用する。
9. 電離層の状態は、昼間と夜間又は季節等によって変化しない。
10. 船舶用レーダーは、アンテナ位置が海面より高いほど探知距離は延びるが、探知できない死角範囲も広くなる。